

ものづくり産業を支える人材育成機関を視察 札幌高等技術専門学院

人口減少や少子高齢化の進行により建築業やものづくり分野で人手不足が深刻化する中、昨年12月19日、道議会公明党として北海道立札幌高等技術専門学院（愛称：MONOテク札幌）を訪問し、実習内容を視察しました。

ものづくり産業を支える人材育成機関として、道内には8か所の高等技術専門学院があり、道内の多くの企業で卒業生が活躍しております。今後とも入校生の確保や科目の充実に向け、全力で支援してまいります。



高速道路 機能強化・利便性向上を要請



7月27日、道議会公明党として東日本高速道路(株)北海道支社を訪問し、高規格道路の整備に関する申し入れを行いました。

ポスト・コロナを見据え、道民生活や経済活動に必要な医療や物流、観光などの交通需要に対応するため、暫定2車線の4車線化や暫定2車線区間のワイヤーロープ設置の早期完了、また、サービスエリアやパーキングエリアの増設など、利用者の視点から一層の利用促進策を推進するよう要望しました。

9月9日、道議会公明党として、日本赤十字北海道看護大学の根本昌宏教授を講師にコロナ時代における避難のあり方を学びました。

コロナ禍における避難形態として①在宅②避難所③車中泊④ホテル・旅館⑤親戚や知人宅などがあり、それぞれリスクがあることも認識する必要、との話がありました。

また、ハザードマップを見たことが「ある人」と「ない人」とでは避難行動を起こした人数に大きな差があり、ハザードマップの見やすさや提供・配布の仕方に工夫が必要との話を受け、今後、関係機関と議論を深めてまいります。



森しげゆきプロフィール

- 昭和28年6月12日 香川県坂出市生まれ
- 昭和47年 国立詫間電波高校(現香川高専)卒業
- 昭和56年 神戸大学経済学部卒業
- 平成6年 時事通信社退職(22年間勤務)
- 平成7年 北海道議会議員初当選
- 平成31年 同6期目当選
- ◆北海道議会 水産林務常任委員会 理事
人口減少問題・地方分権改革等
調査特別委員会 委員
- ◆公明党北海道本部 代表代行
- ◆北海道議会 公明党議員団 団長

●●● 皆様の声をお寄せ下さい ●●●

森しげゆき事務所

〒003-0025 札幌市白石区本郷通2丁目北3-21
TEL 011-860-4151/FAX 011-865-9043
URL <http://kmplan.net/usr/mori/>
E-mail sigemori@seagreen.ocn.ne.jp

発行：森成之／編集：ケー・エム・プラン

北海道議会議員 〈札幌市白石区〉 森しげゆき 通信



2020
秋冬号

新型コロナウイルス感染症対策



4度にわたり—

道に緊急の対応策を要請

道民の“想い”を受け止めて

昨年12月に初めて発症者が確認されて以来、たちまち全世界に拡大した新型コロナウイルスによる感染症。本道においても全国に先駆けて緊急事態宣言を出すなど感染拡大防止に努めてきましたが、10月末現在において、感染ペースは急激に加速してきております。

この間、道議会公明党としても、各種団体はじめ多くの道民の皆様からいただきましたご意見、ご要望を4度にわたり知事に要請するなど、対策に取り組んで参りました。今後も、長期化が懸念されるコロナ危機に全力で対応してまいります。



議員団団長として鈴木知事(右)に内容を説明

【①2月19日】

- ◎新型コロナウイルス感染症の相談窓口や相談体制の充実
- ◎学校や社会福祉施設における感染防止対策の推進
- ◎中小企業を対象とした相談窓口や金融支援などの対策

【②4月20日】

- ◎休業要請の事業者に対し、国の臨時交付金を活用した速やかな支援の実施
- ◎PCR検査の拡充や軽症者の宿泊療養施設の確保
- ◎マスクや防護服など医療物資の確保

【③5月12日】

- ◎長引く休校措置に対応した自宅学習へのサポート
- ◎PCR検査・抗体検査などの抜本的な検査体制の構築
- ◎札幌圏における医療体制の広域連携を強化

【④6月17日】

- ◎事業継続と雇用を守るための更なる支援
- ◎芸術文化活動の再生支援
- ◎地域の経済回復と活性化に向けた支援

各回の要請の主な内容

コロナ時代の防災対策を学ぶ

待望の「ウポポイ」がオープン

7月30日、白老町にオープンしたアイヌ文化の復興・発展の拠点施設「ウポポイ」を視察しました。

「ウポポイ」は、東北以北で初の国立博物館としてのアイヌ民族博物館や民族共生公園、慰霊施設などで構成されており、民族共生公園内には「アイヌ古式舞踊」の上演が行われる体験交流ホールをはじめ、アイヌの伝統的家屋「チセ」群が再現されています。

道議会公明党として、これまで議会等で「アイヌ文化とその歴史を日本と世界に発信するため、国立アイヌ民族博物館の創設を国に強く求めるべき」と提案。また、周辺道路や駅舎などの整備について質問するなど、実現を後押ししてきました。



国立アイヌ民族博物館



伝統的家屋「チセ」群

東北以北初の国立博物館も

メディカルウイング

全国展開を目指して

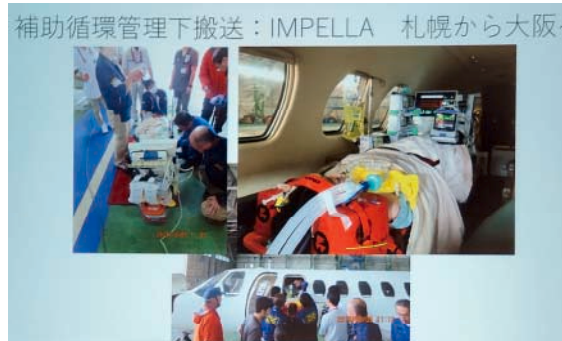
9月12日、北海道航空医療ネットワーク研究会の役員会・総会に委員の一人として参加しました。

平成27年7月30日から始まったメディカルウイング（医療用小型ジェット機）を活用した「北海道患者搬送固定翼機運航事業」の搬送件数は令和

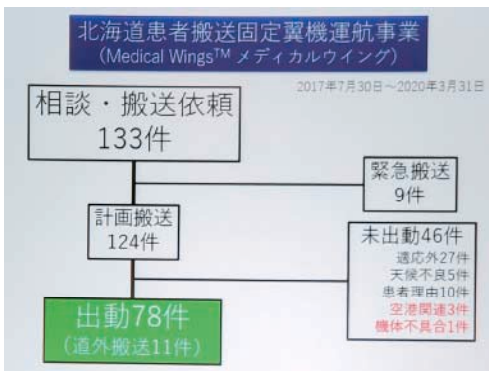
2年3月末で78件との報告がありました。

一方、令和元年4月から始まった研究運航事業では脊髄損傷患者の搬送や道立子ども総合医療療育センターからの新生児・乳児のバックトランスファー（病状が治癒または軽快した場合、入院依頼元の医療機関へ転院すること）の報告がありました。

今後はメディカルウイングを全国で活用できるよう取り組んでまいります。



補助循環管理下搬送：IMPELLA 札幌から大阪



胆振東部地震から2年

安平 厚真 むかわ 町長らと復旧・復興について意見交換

最大震度7を観測し、大きな被害をもたらした北海道胆振東部地震から2年が経過しました。

こうした中、9月3日、道議会公明党として、安平、厚真、むかわの3町を訪問し、復旧・復興の現状を視察するとともに、各町長と今後の地域づくりについて意見交換しました。

地震の影響で、後背地が大規模な土砂崩れを

起こし、使用できなかった厚真町の富里浄水場も今年の7月31日から給水が始まりました。今回、この後背地の斜面には、土砂崩れ防止の対策工事が施されています(写真上)。これからも、地域の皆様と一緒に復興に向け、取り組んでまいります。



安平町ではペット飼育者用の住宅を視察



水産業界の課題にも真正面から



新型コロナウイルス感染症により本道水産業界においても、外食需要の減少などで生鮮品・高級魚などを中心に水産物の価格が下落し、その影響額が500億円を超えると予想されております。

このため、6月15日開催の水産林務委員会において、漁業者や漁業協同組合に対する支援策について、国への要請や道としての取り組みについて質問しました。

幼保無償化に関する声を伺う

昨年10月から幼児教育・保育の無償化が始まり、保護者の皆様や幼稚園・保育園関係者からご意見を伺いました。

園長先生からは「保育士の処遇改善や人材確保への支援が必要」とのご要望を頂きました。

また、保護者の皆様からは「家計の負担が軽くなって嬉しい」「障がいのある子どもの教育・保育を充実して欲しい」などの声を頂きました。

皆様からの声を国や道に届け、改善につなげてまいります。

